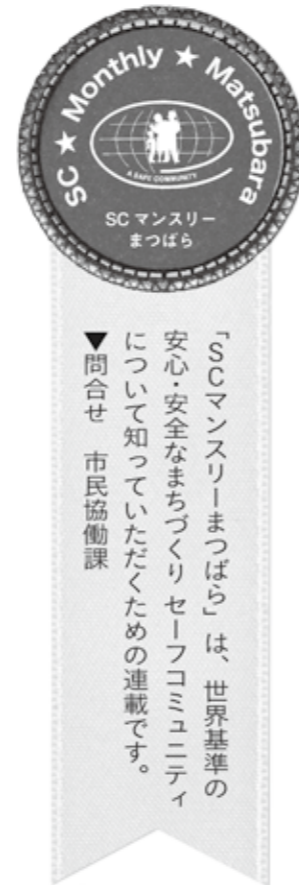


松原市の犯罪発生率(10万人あたりの刑法犯認知件数)は、セーフコミュニティ活動に取り組み始めた2011年から約47%減少しており、現在は大阪府を下回っています。また、アンケート調査によると、松原市民の体感治安は2011年38・8%から2017年51・8%

犯罪件数が減少しています！



と改善がみられており、安心・安全なまちづくりの取り組みの効果が着々と表れてきています。

一方、松原市の街頭犯罪で最も多いのは「自転車盗」であり、街頭犯罪全体の半数以上を占めています。

また、自転車に鍵をかけておらず被害に遭ったケースも少なくありません。被害に遭わないために、駐輪場に置いたとしても油断せず、鍵をかける必要があります。また、自宅敷地内で被害に遭う場合もあり、自転車から離れるときはたとえ短時間であっても鍵をかける習慣をつけましょう。

また、街頭犯罪は比較的夜間に発生する傾向があります。松原市セーフコミュニティ犯罪の防止対策委員会では防犯対策のひとつとして、夜間に外灯や玄関灯を点灯して暗がりをなくし、犯罪の起こりにくい環境をつくる「一戸一灯運動」を推進し

海外から審査員を招き、8月2日・3日にかけて、セーフコミュニティ再認証取得に向けた現地審査を受けました。
現地審査では、松原市が重点課題として設定した「子どもの安全」「高齢者の安全」「交通安全」「犯罪の防止」「自殺予防」「災害時の安全」の6つの対策委員会と外傷調査評価委員会から、セーフコミュニティの認証を取得してから5年間、市民の皆さんと協働で取り組んできた各委員会の活動についての報告を行いました。
また、各委員会の報告の他に、松寿苑において元希者クラブの皆さんによる「元希者エクスサイズ」の披露、はーとビューーにおいて子ども達を対象と



セーフコミュニティ再認証の取得が内定！

した、ゲートキーパー養成講座の様子をご覧いただくなど、さまざまな取り組みを見ていただきました。

2日間の審査を終え、審査員の先生は松原市のセーフコミュニティ活動を高く評価され、再認証の内定をいただきました。

また、「それぞれの対策委員会がしっかりと取り組んでいるので、今後は対策委員会同士の交流を大切に、さらに取り組みを進めて欲しい」などのアドバイスも頂きましたので、さらなる安心・安全なまちになるよう市民の皆さんとともにセーフコミュニティ活動を進めていきます。

▼問合せ 市民協働課



▲自転車盗防止キャンペーンの様子

ています。犯罪者は見られることを最も嫌うため、一つひとつの灯りは小さなものでも、地域で取り組むことで防犯力を高めることができます。また、仕事帰りの女性や、部活動・塾帰りの子どもを狙う痴漢などの犯罪を遠ざけることができるだけでなく、自宅への忍び込み犯罪などの防止にもつながります。点灯時間は「就寝まで」や「夜通し」など、皆さんの可能な範囲で結構ですので、ご協力をお願いします。また、一戸一灯運動ステッカーを市民協働課で配布していますので、郵便受けなど見えやすいところに貼って活用してください。



平成29年 出典：大阪府警安まちアーカイブ

	忍び込み	自動車盗	自転車盗	ひったくり	車上ねらい	子ども被害
発生件数	15	21	312	5	133	14
昼間	0	6	180	1	67	10
夜間	15	15	132	4	66	4
夜間発生割合	100%	71.4%	42.3%	80%	49.6%	28.6%



松原市新堂4丁目土地区画整理組合が設立

国道309号沿道の新堂4丁目地区では、これまでに、地権者組織である土地区画整理準備組合が設立され、事業化に向けての検討などが行われてきました。
このたび、7月21日に開催された総会において、「松原市新堂4丁目土地区画整理組合」が設立されましたので、今後は、土地区画整理事業として、工事などが実施されることとなります。

市は引き続き組合への支援を行い、市民協働のまちづくりを進めていきます。
▶問合せ まちづくり推進課